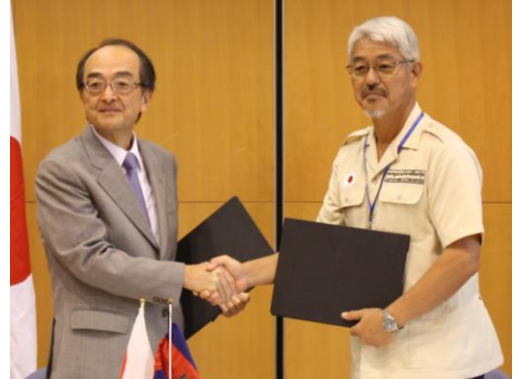


平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

10月17日（木）、平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次特命全権大使と特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会の高倉文敏カンボジア現地統括代表が、「2013年度カンボジア北中部州における不発弾処理促進事業」（供与限度額：687,266米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。



本案件では、カンボジア王国のシェムリアップ州、コンポントム州、ポーサット州及びコンポンチュナン州において実施される1年間の不発弾処理活動等にかかる費用が支援されます。また、不発弾の回収・処理活動だけではなくカンボジア地雷処理センター(CMAC)に対する技術移転活動及び地域住民に対する啓蒙活動が実施され、活動地域の住民約59万人の安全が確保されることが期待されています。OJTのみならず

講義やモニタリング、事業編成外の隊員に対してのワークショップの実施といったCMAC全体の実践能力・安全管理意識の向上が見込まれ、更に事業地域の住民を不発弾危険回避要員として指名し、不発弾に関する情報を提供してもらうとともに、不発弾処理の際にはCMAC隊員と協力して住民たちに危険回避教育を行う予定です。各州の郡長などの指導者や地域の小学校の教員に不発弾の危険性や発見時の対応といった教育を行うことで行政と住民が一体となった取り組みが推進されることが期待されています。

式典では隈丸大使がスピーチを行ない、過酷な環境の中、カンボジアの不発弾処理事業に従事する方々に敬意を示すと共に、今回の支援がカンボジアの草の根レベル人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、高倉カンボジア現地統括代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後もカンボジアの人々と協力して、不発弾の除去活動およびCMACに対する技術移転に努めることが約束されました。

スピーチの後、隈丸大使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

